

窓としてのスポーツ

シリーズ
12

鏡としてのスポーツ

この公開講座は、映画が表象する「関係性の様態」を読み解きながら、「人間と社会の現在」について考える機会にしたいと願い企画されています。

上映後の対談や講義とあわせて、映画の持つ“時には奇想天外で、たまには刺激的な、どちらかといえば胸騒ぎのする発想”に学びつつ、私たちの視界を広げる試みとして位置づけています。

講座終了後、ロビーにておいしいコーヒーをお出ししております。憩いのひとときと共に、講師や聴講された皆様で交流を深めていただきながら、結論のない、あるいは結論がひとつでない、対話を楽しむ道楽としての「シネマ人間学」をじっくりと楽しんでいただければと思います。



(c)BELIEVE MEDIA/URBAN LANDSCAPES PRODUCTIONS 2008 ALL RIGHTS RESERVED

5月19日(土) コーチ・カーター



2005 / アメリカ / 136分 / UIP / 監督: トマス・カーター / 脚本: マーク・シュワーン、ジョン・ゲイティンズ
出演: サミュエル・L・ジャクソン / リック・ゴンザレス / ロバート・リチャード / アシャンティ



※出演者に関しては諸事情により変更する場合がありますのでHPなどでご確認ください。

講義登壇者

大家 友和さん (プロ野球選手)

漆原 良 (立命館大学産業社会学部准教授)

6月30日(土) タイタンズを忘れない



2000 / アメリカ / 114分 / ブエナビスタインターナショナル / 監督: ボアズ・イエーキン / 脚本: グレゴリー・アレン・ハワード
出演: デンゼル・ワシントン / ライアン・ハースト / ウィル・バットン



講義登壇者

河口正史さん (元プロアメリカンフットボール選手)

山下高行 (立命館大学産業社会学部教授)

7月21日(土) カシム・ザ・ドリーム～チャンピオンになった少年兵～



2008 / アメリカ / 87分 / アップリンク / 監督: キーフ・デヴィッドソン
出演: カシム・オウマ



講義登壇者

小倉大岳さん (妙心寺塔頭金牛院副住職、花園高校ラグビー部コーチ)

市井吉興 (立命館大学産業社会学部准教授)

参加費: 一般 ¥800

京都シネマ会員 ¥500

立命館学生・教職員 ¥500

時間: 13:00 開場 13:30 開演

《対談》15:30 ~ 16:30

(上映時間により多少異なります)

会場

立命館大学朱雀キャンパス5F大講義室(ホール)

JR二条駅、地下鉄東西線二条駅 徒歩5分

駐車場・駐輪場がございませんので、ご来場は公共交通機関をご利用下さい。

満席の場合、ご入場を制限させていただくことがありますのでご了承下さい。

朱雀シネマCAFE

対談後、会場ロビーにて
おいしいコーヒーを
淹れています！



みなさまと交流を
深めながら、
カフェタイムで
憩いのひとときを♪



PRODUCED BY CAFE PHALAM

「朱雀シネマCAFE」は地元のCafe Phalam様にご協力いただいております。

主催:立命館大学

共催:京都シネマ

協力:立命館大学産業社会学部、立命館大学人間科学研究所

協力:UIP、ブエナ ビスタ インターナショナル、アップリンク

企画コーディネート:神谷雅子(京都シネマ代表)・中村正(応用人間科学研究科 教授)

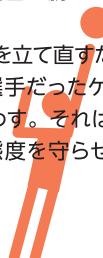
今回はスポーツ映画をとりあげます。スポーツは社会と人間を映す「鏡」でもあります。そして社会と人間の深みへと誘う「窓」のようでもあります。スポーツ的思考のすすめです。産業社会学部のスポーツ社会専攻にご協力いただきます。

5月19日(土) コーチ・カーター



アメリカのとある犯罪都市にある、落ちこぼれの集まるリッチモンド高校。この高校のバスケットボールチームはほとんど試合に勝ったことがない。

そんなチームを立て直すためにOBでバスケの名選手だったケン・カーターが赴任する。彼は選手たちとある契約を交わす。それはバスケと関係のない学業での成績向上と規律ある生活態度を守らせるというものだった…。



おおかともかず
大家友和 氏



うるしはらりょう
漆原良



元メジャーリーガーのプロ野球選手。1976年生まれ。京都市右京区出身。京都成章高校3年生のときに夏の京都府大会で準優勝。卒業後、ドラフト3位で横浜に入団。1999年に渡米し、ボストン、モントリオール、ミルウォーキー、トロントに在籍し、野茂英雄に次いで日本人2人目となるメジャー通算50勝を達成。昨年秋に肩を手術し、現在復帰に向けリハビリに励んでいる。

立命館大学産業社会学部准教授。専門は神経生理学、運動生理学。運動制御における中枢神経系での感覚情報処理を研究テーマとしており、「『間』の考察から運動そのものヘーディツの運動科学理論とともに(7)～コーディネーショントレーニングの実践から～」など多くの研究論文を発表している。

6月30日(土) タイタンズを忘れない



公民権運動が盛り上がる1971年アメリカ・ヴァージニア州アレクサンドリア。白人学校と黒人学校が統合されたT・C ウィリアムズ高校にフットボールチーム「タイタンズ」が結成される。

着任したのは実績ある黒人コーチ、ハーマン・ブーン。しかし、「肌のいろが違う」という消えない偏見、事あるごとに起こる対立など数々の苦難にぶち当たる。

人種差別渦巻く田舎町で、厳しいトレーニングを通じて変化していく若者たちを、実話をもとに描いた感動作。

かわぐちまさふみ
河口正史 氏



やましたたかゆき
山下高行



元プロアメリカンフットボール選手。1973年生まれ。兵庫県川西市出身。カリフォルニア州サン・クレメンテ高校で本格的にアメリカンフットボールをはじめ、立命館大学国際関係学部に進学。アメリカンフットボール部「パンサーズ」の初めての学生日本一に貢献した。大学卒業後、NFL ヨーロッパ、アムステルダム・アドミラルズでプレー。3年目に「オールNFL ヨーロッパ」に選出された。

立命館大学産業社会学部教授。コリア研究センター副センター長。専門はスポーツ社会学。国際学会や日本の学会の理事、事務局長をつとめる。スポーツイベントから地域のスポーツまで幅広く社会とスポーツの関係を研究しており、2002年のW杯サッカー以降サッカー・サポーターの研究も行っている。著書『スポーツ・レジャー社会学』(編著、道和書院)、『越境するスポーツ』(共著、創文企画)等多数。

7月21日(土) カシム・ザ・ドリーム ～チャンピオンになった少年兵～



ジュニア・ミドル級チャンピオンのプロボクサー、カシム・オウマのドキュメンタリー映画。

ウガンダ内線で6歳のとき誘拐され、国民抵抗軍の少年兵として育ったカシム・オウマ。軍隊で訓練していたボクシングの遠征で軍を脱走する。言葉も不自由で、住むところもないアメリカに渡り、ボクシングを糧に成長。やがてジュニア・ミドル級の世界王座までのぼりつめていく…。



おぐらたいがく
小倉大岳 氏



いちいよしふさ
市井吉興



1965年生まれ。京都市右京区出身。平安中学・高校時代は野球部で活躍。卒業後、立命館大学経営学部に進学しラグビー部に入部。未経験ながらもレギュラーの座を勝ち取り、卒業後は京都市役所のラグビーチームに所属した。厳しい修行の後、実家の妙心寺塔頭・金牛院の副住職となる。その後、花園高校のラグビー部のコーチとして高校生の指導にあたっている。

立命館大学産業社会学部准教授。専門はスポーツ文化論・レジャー研究。「マルクス主義的スポーツ研究の課題と展望:日本とイギリスの研究からその変遷と課題を素描する」、「人間の安全保障としての『レジャー』をめざして:新自由主義型自由時間政策批判序説」などの多くの研究論文が専門誌に掲載されている。

企画コーディネーター

かみやまさこ
神谷雅子

京都シネマ代表。「京都朝日シネマ」(2003年1月)閉館後、04年12月に新しいアート系映画館「京都シネマ」をオープン。著作に『映画館ほど素敵な商売はない』(かもがわ出版)

なかむらただし
中村正

立命館大学産業社会学部・応用人間科学研究科教授。専門は、臨床社会学、社会病理学、男性学。『家族のゆくえ』(人文書院)、『対人援助学の可能性—助ける科学』の創造と展開(福村出版)、『ドメスティックバイオレンスと家族の病理』(作品社)など。

お問合せ先



立命館大学 社会連携課

〒604-8520 京都市中京区西ノ京朱雀町1番地

TEL: 075-813-8247 FAX: 075-813-8167 E-mail: cinemas@st.ritsumei.ac.jp

URL: <http://www.ritsumeihuman.com/>

